
日本海洋学会 ナイトセッション
国連海洋科学の10年 市民団体との協働に向けて

開催日時：2021年9月13日（月）17:00～18:30（オンライン懇親会 18:30～19:30）

会場：オンライン

主催：日本海洋学会

共催：日本水産学会、日本海洋政策学会

コンビーナー：森岡優志（海洋研究開発機構）、近藤能子（長崎大学）、

伊藤幸彦（東京大学大気海洋研究所）、田中広太郎（笹川平和財団海洋政策研究所）

趣旨

国連海洋科学の10年（以下、海洋10年という）は、国連が掲げる持続可能な開発のためのアジェンダ2030を達成するために、海洋科学を駆使して持続可能に海洋を利用し管理する国際的な枠組みである。2021年から2030年までの10年間を対象として、世界各地で海洋10年に関する取り組みが行われる予定で、日本からの貢献も期待されている。2021年2月には日本国内委員会が正式に発足し、海洋10年に向けた日本の取り組みの事例集などがウェブ上で公開されている。2021年6月には海洋10年で最初のハイレベル会合や海洋若手専門家（ECOP）のオンラインイベントが行われ、海洋10年の機運が世界各地で高まっている。

日本海洋学会では、2019年秋季大会以降、海洋10年に向けた国内準備状況の紹介や海洋科学者サイドと社会的ニーズとの関わりについての議論を進めてきたが、これからの海洋科学研究を担う若手研究者との連携は十分ではない。また、海洋10年は海に関わる専門家だけでなく、教育、行政、民間、NPO/NGOなど、あらゆる分野の海洋関係者を対象としており、持続可能な海の将来について様々な視点から議論を行い、1つ1つ具体的な活動につなげていくことが重要である。

このナイトセッションでは、海に関わる国内の専門家やステークホルダーを交えて、海洋10年の国内外の動向や取り組みの事例を共有し、専門分野や世代を超えてネットワークを構築することを目的とする。一生に一度と言われる、海洋10年の機会を活かして、私たちが求める海の将来を共に考え、行動につなげる契機とする。

プログラム

司会：森岡優志 (JAMSTEC)

スケジュール	時間	タイトル	講演者 (敬称略)
17:00-17:15	15分	The Ocean Decade で求められ、目指すべきもの	植松光夫 (Interim Decade Advisory Board (IDAB) 暫定諮問委員会委員、埼玉県環境科学国際センター 総長)
17:15-17:25	10分	ECOP Program and its opportunities for regional networks	Karina Higa (Women4Oceans, Sustainable Ocean Alliance - Young Ocean Leader)
17:25-17:40	15分	漂着物が映す自然と人間	村上健太郎 (砂浜美術館 理事長)
17:40-17:55	15分	多様な主体が協働する「持続可能な里海づくり」	神田優 (黒潮実感センター センター長)
17:55-18:10	15分	漁師の知恵を科学する～漁業現場と海洋科学の対話の促進に向けて～	田中丈裕 (里海づくり研究会 理事・事務局長)
18:10-18:30	20分	全体討論	進行：道田豊 (東大 AORI 教授)
18:30-19:30	60分	懇親会 (オンライン)	進行：安藤健太郎 (JAMSTEC 専門部長)

参加方法

時間になりましたら、以下 URL からご参加ください。申し込みは不要です。

ナイトセッション (17:00-18:30) :

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/83040745827?pwd=cVZTQ3ljVitKR25zd0ZnaGI0MGZjQT09>

ミーティング ID: 830 4074 5827

パスコード: 623137

懇親会 (18:30-19:30、Gather を利用します。リンクは下記 zoom 上でお知らせします。) :

<https://us02web.zoom.us/j/88356197289>

ミーティング ID: 883 5619 7289

パスコード: 764489

お問い合わせ先

森岡優志 (海洋研究開発機構) morioka_at_jamstec.go.jp (_at_を@にご変更ください)